

いわれ、そこを今でもヒメブチといいます。

《 第十五話 》

地藏坂の鬼ばあ(大川原)

むかし、むかし。

大川原の坂道の四つ角に地藏様がたっていました。そのがけ下に小さな長い長い穴があいていました。その昔、金を掘った穴だといわれていましたが、中に入った人はいませんでした。

その穴の向う側は谷間になって小川がさらさらと流れ、春になるときれいな花が咲き乱れました。そこに一人のババアが住んでいましたが、昼は穴の中に住んでいるので誰も見た人はありません。

そのババアは風のある夕方こんな歌を歌うのでした。

「米とぎましょか、人喰いましょか、ザックザック、ザックザック。」

でも村の人には聞こえません。ただ風のまにまに、ザックザックと聞こえました。人々は別に